

お客さまへの安全走行のお願い

当社が管理する高速道路で2023年は、34件の交通死亡事故が発生しました。

特に、本線上に停止した車両や車外に出た人に後続車が追突する形態の事故が死亡事故全体の約5割を占めています。渋滞の中や最末尾付近などでは追突事故が発生しやすい状況になりますのでご注意ください。

なお、当社公式WEBサイト[<https://www.c-nexco.co.jp/safety/>]では、高速道路を安全で快適にご利用いただくためのさまざまな情報がご覧いただけます。

《安全走行に関するお願い》

- ① 渋滞末尾で停止・減速する際はハザードランプを点灯して後続車に合図
- ② 前方の停止車両や人に要注意
- ③ 情報板やハイウェイラジオなどでこまめに道路交通情報をチェック
- ④ 故障や落下物を防ぐため、出発前には必ず車両と積荷を点検

《渋滞末尾での追突事故にご注意を》

渋滞時には、渋滞の車列の中や渋滞末尾で追突事故や接触事故が発生しています。

渋滞末尾に近づいた際にはハザードランプを点灯し、後続車に合図を送るとともに前車との車間距離を十分に確保して、追突事故の防止にご協力ください。



《高速道路の逆走にご注意を》

行き先や出口間違いをした際のUターンなどにより、高速道路を逆走した車両が関係する重大事故が発生しています。万が一、逆走車両を発見した場合は、料金所やサービスエリア・パーキングエリアなどの安全な場所から、110番で通報をお願いいたします。逆走車両の情報を見聞きした場合は、速度を落とし、十分な車間距離をとって、前方車両の動向を注視しましょう。逆走車両は追越車線を走行する傾向があります。

高速道路をご利用される際には、標識や路面標示をご確認いただき、指定された方向への走行をお願いいたします。

また、逆走をしてしまった場合には周囲を確認したうえでハザードランプを点灯して停止し、安全な場所から速やかに110番や非常電話で通報*をお願いいたします。

※「故障車」や「落下物」・「道路の破損」などを見つけたら『#9910』にて通報願います。



目的のインターチェンジを行き過ぎてしまった場合は、高速道路上でバックやUターン(転回)はせず、そのまま走行し、次のインターチェンジで降りてください。インターチェンジ出口では料金所スタッフがいるレーンをご利用いただき、料金所スタッフにお申し出ください。

目的のインターチェンジまでお戻りいただけるようご案内しますので、料金所スタッフの指示に従ってください。その際の通行料金は当初流入インターチェンジから目的のインターチェンジまでの通行料金となります。

インターチェンジの構造などによっては対応できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

《全席シートベルトの着用を》

高速道路上の事故では、シートベルトを着用していない乗員が、衝突の反動で車の外に投げ出されて死亡する事故が毎年報告されています。必ず全席シートベルトの着用をお願いいたします。



《高速道路上の停止車両や、車外に出ている人にご注意ください！》

渋滞や故障、事故などにより停止した車両に後続の車両が追突する事故や、故障や事故などの様子を確認するため車外に出ている人がはねられる事故が多発しています。

《高速道路上で停止した場合は》

事故や故障などにより万が一高速道路上に停止してしまった場合は、ハザードランプを点灯するとともに、発炎筒・停止表示器材を車の後方に無理のない範囲で設置し、後続車へ合図してください（設置する際は車線から離れ、ガードレールなどの防護柵より外側の安全な場所を通過して移動してください）。

また、車内や道路上にとどまるのは大変危険ですので、運転者も同乗者も全員、通行車両や足元に十分に注意して、自車より後方のガードレールなどの防護柵より外側の安全な場所へ避難してください。

避難後は、110番や非常電話、道路緊急ダイヤル（#9910）などで通報をお願いいたします。



《落下物にご注意ください！》

落下物の責任は落とした人にあります。出発前やサービスエリアなどでの休憩時には、車両の点検をおこない、荷物を積載する場合はシートをかけてロープでしっかり固定するなど、走行中にゆるんだり、落下させたりしないよう注意してください。

落下物を見つけた場合は、安全な場所から道路緊急ダイヤル（#9910）に通報をお願いいたします。

通報を受け、高速道路会社の道路管制センターが道路情報板に「落下物注意」の情報を流すとともに、交通管理隊が落下物を回収します。

《「あおり運転」は絶対にやめましょう！》

前方の車に極端に接近して運転するなどのいわゆる「あおり運転」は、大変危険です。車を運転する際は、周りの車の動きなどに注意し、安全な速度での運転を心掛け、十分な車間距離を保つとともに、無理な進路変更や追い越しは絶対にやめましょう。

危険な運転者に追われるなどした場合は、サービスエリアなど、交通事故に遭わない安全な場所に待避するとともに、ためらうことなく警察に110番で通報してください。交通ルールを守った、思いやり・ゆずり合い運転を心掛けていただきますようお願いいたします。